

97 1月14日火—2月16日日

【休館日】月曜日

【開館時間】午前10時～午後6時(入場は5時30分まで)

※ただし毎週金曜日は午後8時まで(入場は7時30分まで)

生誕二百年記念

歌川国芳展

Utagawa KUNIYOSHI

展

男も 女も
骸骨も 猫も
金魚もあります
奇才 国芳の
全画業をもうら

【入場料】一般1,000円(800円)
大学・高校生700円(560円)
中・小学生300円(240円)

※()内は団体30名以上及び前売料金

【主催】千葉市美術館
日本経済新聞社(日本経済新聞創刊120周年記念)
【後援】文化庁／外務省
【協力】日本航空



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260 千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311

相馬の古内裏部分

大宅太郎光國

近江の国の勇婦於兼(部分)／1／24／2／16展示



源頼光公館作妖怪図



魚づくし ふぐに赤えい・金魚に目高
〈スプリングフィールド美術館蔵、1/14～2/2展示〉

幕末期に新奇、新趣の画題・画技を開発し、葛飾北斎とともに従来の浮世絵の通念ではとらえきれない活躍をした絵師に歌川国芳(1797～1861)がいました。

国芳は、『水滸伝』シリーズで一躍「武者絵の国芳」と呼ばれるほどの人気を得、その勇壮な人物画の入れ墨が江戸中ではやるほどでした。しかし、国芳の技量は武者絵のみにとどまることなく、三枚続のワイド画面を最大限に活用したパノラマ的描写の歴史画、明るく小粋で庶民性あふれる女性をおおらかに描いた美人画、西洋の遠近法や陰影法を取り入れた風景画、愛情あふれる観察とみずみずしい色彩で生まれた動植物画などあらゆるジャンルに発揮されました。特に戯画、風刺画における発想の独自性と豊かさには、時代を超えた驚きと笑いが満ちています。

この絵師については、最近までの作品発掘の作業と緻密な考証、そして積極的な評価によって次第にその全貌が明らかになってきました。国芳の作品の近代性や自由な発想は内外の研究者や浮世絵愛好家、出版やデザイン関係者に近年特に注目されています。

本展覧会は、国芳の生誕200年を記念し、鈴木重三氏を監修に迎え、内外のコレクションから可能な限り良質の版画作品と挿絵本を一堂に集めて紹介するものです。出品作品は重複(同一図柄2点)を含めると315点。千葉市美術館においては開館記念展「喜多川歌麿展」に続く、浮世絵師の総合展の第二弾になります。

●作品保護のため、会期中大幅な展示替えを行います。

【期間中の行事】

〔1〕講演会 2月9日(日)午後2時より／千葉市美術館(11階講堂)

講師：鈴木重三(元国立国会図書館司書監)

演題：「奇想の画家 国芳」●聴講無料

〔2〕ギャラリートーク 会期中 火・木・土曜日の午後2時より(計15回)

講師：千葉市美術館学芸員

〔3〕さや堂コンサート

●2月8日出午後2時より 琴絵巻「古典から現代まで」〔琴〕

出演＝酒井典彦、山下裕二

●2月15日出午後2時より アーリー・ハーブ コンサート〔ハーブ〕

出演＝アンドリュー・ローレンス＝キング

〔イベントに関する問い合わせは美術館まで〕

【同時開催】

1970年代／日本／現代

【次回予告】

第28回千葉市民美術展

2月22日～3月14日

超克するかたちー彫刻と立体

3月19日～4月24日

千葉市美術館

〒260 千葉市中央区中央3-10-8 T el.043-221-2311

展覧会のご案内：ハローダイヤル T el.043-227-8600

※来館者用駐車場は少ないので、
自家用車での来館はご遠慮ください。



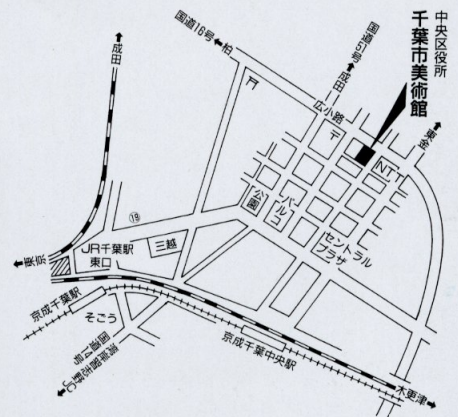
東都首尾の松之図



夕霞／日本浮世絵博物館蔵、1/28～2/16展示



宮本武蔵と巨鯨



- JR総武線千葉駅東口より徒歩約15分
- JR千葉駅前から
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)か小湊バス姉崎行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 無料シャトルバス「チーバス」(のりば⑨) 11:00～18:00の毎時05分と35分に出発(水曜日運休)「中央区役所・美術館前」下車
- 京成千葉中央駅より徒歩約10分